

お正月の次は節分!

お正月の次は節分ですね。節分には「季節を分ける」という意味があり、立春(2/4頃)・立夏(5/6頃)・立秋(8/8頃)・立冬(11/8頃)が暦上で季節の変わり目であることから節分の日にあたります。立春が年間行事の「節分」とされているのは、昔の人は冬から春になる時を1年の境と考えていたため、特に大事な日とされたからだそうです。節分と言えば「鬼は外、福は内」のかけ声で行う豆まきですね。豆まきは中国の「追儺(ついな)」と言われる宮中で行われていた疫鬼や疫神を大晦日に追い払う行事が起源とされています。豆まきの豆は「魔を滅する=魔滅=まめ」という意味があります。豆まきには大豆を炒った福豆を使用します。

豆まきの後に数え年の分だけ福豆を食べますが、これには「福を食べて1年間健康に過ごせるように」との願いが込められているそうです。筆者は幼い頃に祖母に向かって「おばあちゃんは沢山食べられて良いな」と言っていたことを毎年この時期になると思い出します。節分の日には柵とイワシを玄関へ飾る風習もあります。柵の棘とイワシの臭いに魔除けの効果があるとされているため、この二つを併せて飾るのだそうです。この他にも近年は節分に恵方巻きを食べる食文化が根付いてきています。今年の節分は春の始まりに向けて、豆まきをして福豆を食べ、恵方巻きを食べてご家族や友人と1年の健康や幸せを願う1日とするのはいかがでしょうか?



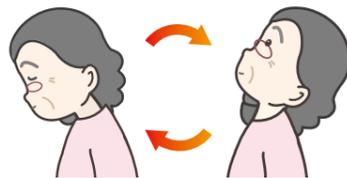
嚥下(えんげ)体操

食べる前には、準備運動をしましょう。*首に障害のある方は、首・肩の運動は医師の指導に従ってください。

1 首の体操(各2~3回ずつ)

首を前後にたおします。次に、左右にゆっくりとたおします。

首を前後に倒す



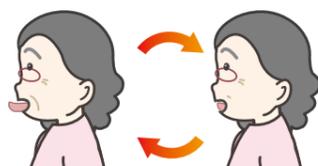
首を左右に倒す



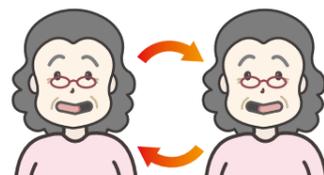
2 舌の体操(各2~3回ずつ)

口を開いて、舌を出したり、ひっこめたりします。左右にも動かします。

舌を出し、引っ込める



舌を左右の口角につける



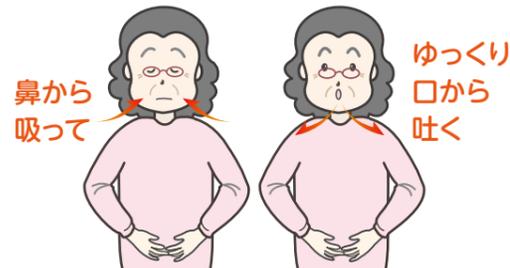
3 発声練習(2~3回)

「パパパパ、タタタタ、カカカカ、ララララ」とゆっくり発声します。今度は「パタカラ」と繰り返して発声します。



4 深呼吸(2~3回)

ゆっくりと深呼吸します。(鼻から吸って、口からはく)



病院だより



令和5年1月4日 発行:公立福生病院 経営企画課 経営企画係 住所:東京都福生市加美平1-6-1 <https://www.fussahp.jp>



2023年 新年の挨拶

皆さま明けましておめでとうございます。本年も皆さまのご健康とご多幸を祈ります。

企業長挨拶

明けましておめでとうございます。今年こそは大災害や陰惨な事件のない平穏な年であってほしいと思いますがどうなりますでしょうか。

コロナ禍ももう丸3年になり、第7波と呼ばれた昨年7月8月あたりは当院で用意したコロナ対応2病棟の40床あまりはほぼ連日満床の状態でした。その後幸い少しずつ新規発生患者数は減少しましたが昨年10月下旬ころからじわじわと増加傾向にあり不気味な印象です。このお正月には第8波のピークと化しているのかもしれないので油断禁物です。

国・都のコロナ関連補助金により今回当院は見かけ上は大規模な経営黒字となりました。ただコロナ禍の前後で医療環境は相当変化しましたので、補助金がなくなった時点でも病院全体の維持やさらなる発展を円滑に進めて行かねばなりません。それには当院の努力だけでは正直困難です。構成市町・各医師会・関連団体、そして何よりも住民の皆様の御協力がかかせません。

そのためにも本年早々に公立福生病院経営強化プランという当院としての戦略文書を作る予定です。これは総務省が示した公立病院経営強化ガイドラインに応じたもので、収入増加や支出抑制はもとより今後当院の進むべき方向性を明らかにするものです。本年も皆様当院の応援団として支えてくださいますようお願いいたします。



福生病院企業団 企業長 松山 健

院長挨拶

令和4年も新型コロナウイルス感染症に翻弄され、そちらの診療を優先せよとの国・東京都からの要請でしたので、一般急性期病床を減少せざるを得ず、救急患者の受け入れを十分にできないなど、地域の皆様にはご迷惑をおかけしました。

しかし、当院としてもこのまま手をこまねているわけにはいかず、来年度に向けて新たな施策を考えております。西多摩二次医療圏の二次救急基幹病院として、紹介受診重点医療機関に選定されるべく、専門治療・入院診療を中心とした体制に大きく変容しようとしています。まずは、当院の長年の懸案事項でした「救急科」を創設する準備をします。令和5年4月から慶應義塾大学病院救急科より1名の常勤医を派遣していただくことが可能となりました。まずは、平日日勤帯の救急医療のより一層の充実を目指します。

本年以降、当院は入院診療を中心とした、より高度な専門治療を行う機関となります。地域の皆様方には、自宅のお近くに「かかりつけ医」をお作りいただき、通常の外来診療は「かかりつけ医」にて、専門的な検査・手術・入院診療に関しては当院にて、という病診連携のこれまで以上の明確化を図り、医療資源の少ない医師少数区域である西多摩地区の医療の発展を目指してまいります。当院も職員一丸となって努力してまいりますので、地域の皆様にもご理解いただきたいと思っております。本年も変わらぬご支援のほど、よろしくお願いいたします。



公立福生病院 院長 吉田 英彰

令和3年度福生病院企業団 病院事業会計決算の概要

収益的収支

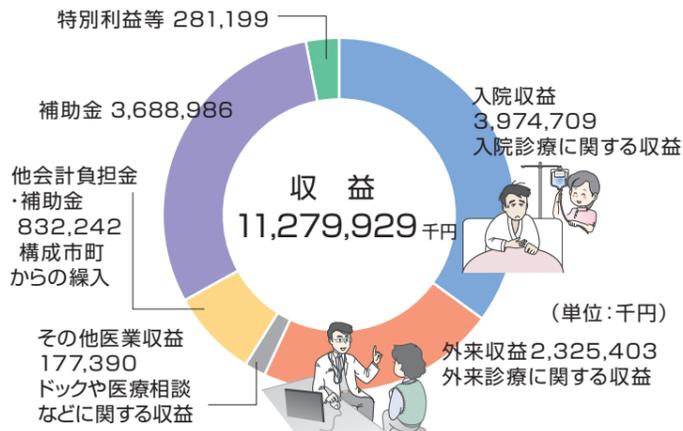
入院・外来診療等の病院経営活動により発生する収入・支出

款	項	決算額	対前年度比率	款	項	決算額	対前年度比率
病院事業収益	医業収益	6,477,501 千円	107.3 %	病院事業費用	企業団管理費	29,897 千円	95.4 %
	医業外収益	4,799,523	163.4		医業費用	8,353,800	100.4
	特別利益	2,905	78.9		医業外費用	473,805	103.9
計	11,279,929	125.6	特別損失		5,149	皆増	
				予備費	0	-	
				計	8,862,651	100.6	

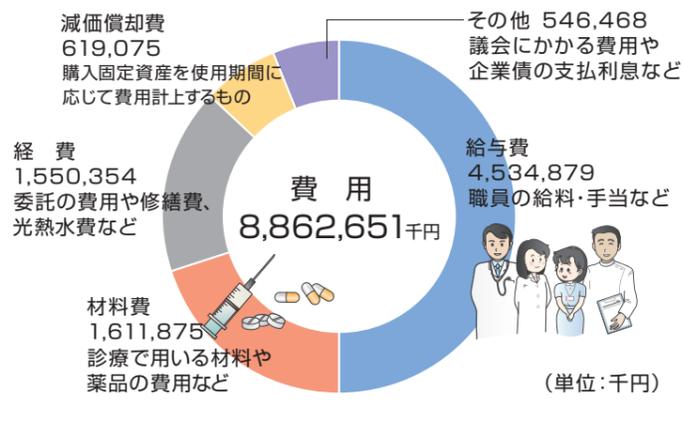
※医業収益…入院収益、外来収益など
 医業外収益…構成市町からの繰入金、補助金など

※医業費用…給与費、材料費(薬品費・診療材料費等)など
 医療外費用…企業債の支払利息など

病院事業収益内訳



病院事業費用内訳

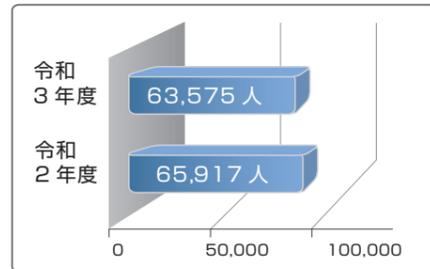


■入院収益 ■外来収益 ■その他医業収益 ■他会計負担金・補助金 ■補助金 ■特別利益等

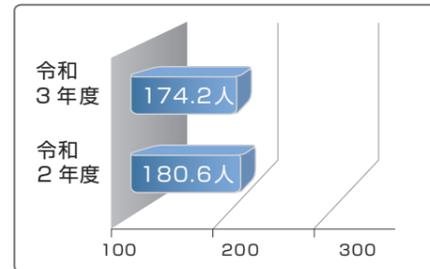
■給与費 ■材料費 ■経費 ■減価償却費 ■その他

業務量

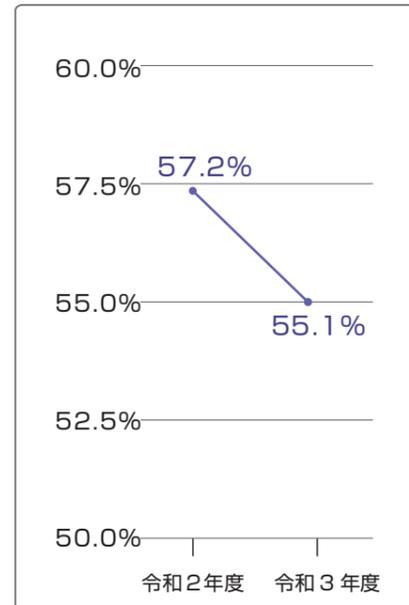
【入院】年間延患者数



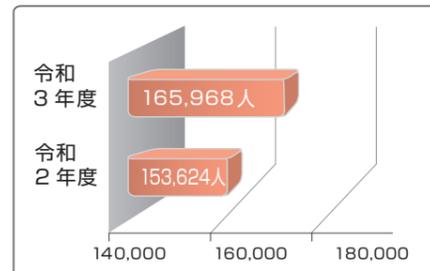
【入院】一日平均患者数



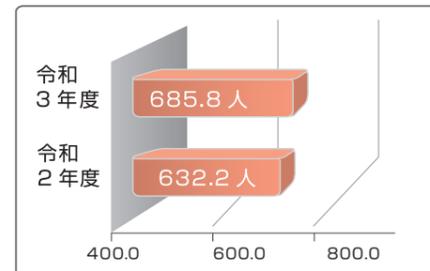
【入院】病床稼働率



【外来】年間延患者数



【外来】一日平均患者数



紹介受診重点医療機関について

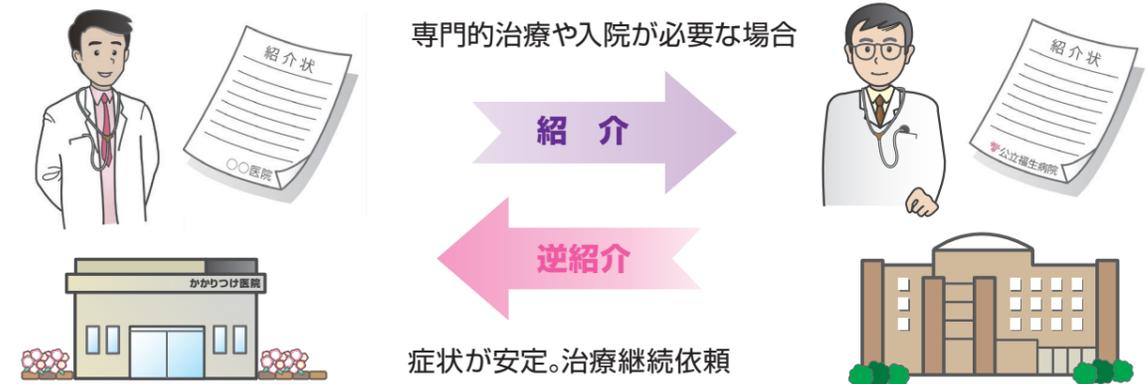
当院を含め大規模な病院や地域の中核的な基幹病院では、外来患者さんの集中、診療待ち時間の長時間化、勤務医の外来負担の増加に伴う入院診療の質の低下などの課題が生じております。

国の方針では、病院の外来診療の役割は急性期の患者さんを診察することであり、状態が安定した患者さんは「かかりつけ医」で継続した治療をしていただくことが望ましいとの指針を出しております。

このような中、国の新たな制度として、「かかりつけ医」と「病院」との機能・役割の明確化をより推進するため、紹介患者さんへの外来を基本とする「紹介受診重点医療機関」が令和4年度から設けられました。当院においても、この課題を解決するために、令和5年度から「紹介受診重点医療機関」を目指し、紹介・逆紹介を推進しております。

【かかりつけ医療機関】

【公立福生病院】



当院での治療が落ち着き、病状が安定した患者さんは、

- ① 紹介状を持参された患者さん
紹介元の医療機関へ逆紹介いたします。
- ② 紹介状を持参されていない患者さん

一般的な疾病であれば、患者さんの自宅や勤務先に近い医療機関へご紹介、また専門的な治療が必要とする場合は、その疾病に対応できる医療機関にご紹介いたします。

【紹介受診重点医療機関とは】

紹介受診重点医療機関は、外来機能の明確化・連携を強化し、患者さんの流れの円滑化を図るために都道府県ごとに決定される医療機関です。患者さんがまず「かかりつけ機能を担う医療機関」を受診、必要に応じて紹介を受けて紹介受診重点医療機関を受診、その後状態が落ち着いたら逆紹介を受けて地域に戻るといった受診の流れを明確にすることが目的です。なお、紹介状なしで受診する場合の定額負担が変更されます。

(定額負担の額)

【現在】初診: 1,430円

【変更後】初診: 医科 7,700円 歯科 5,500円
 再診: 医科 3,300円 歯科 2,090円

